

## ISO行動指針 “5SとABCの徹底”

# オオケン便り

### お知らせ

#### <PPP事業部>

##### <廿日市市民活動センター>

当センターでは、2月17日土曜日に（株）広島ドラゴンフライズの浦伸嘉社長を講師にお招きして、スポーツで育てる「まちづくり」をテーマに第2回まちづくり講演会を開催します。詳細をご案内致しますので希望される方はお申込みください。

日時：2月17日（土） 午後2時00分から

場所：廿日市市民活動センター2階研修室

定員：90名（先着順）入場無料

問合せ先：廿日市市民活動センター 0829-32-3741

##### <広島市留学生会館>（国際交流・国際協力の拠点）

この年末年始も、可部運動公園の皆様によって頂き、当館メインエントランスに飾っていた立派な門松が、留学生、利用者、そして職員の正月気分を大いに盛り上げてくれました。1月も中旬以降、会館では学年末を迎え多くの留学生が退去します。また、多くの留学生が会館に新たに居住するための入居申請をしてきており、それらの手続等で1年の中で最も忙しい時期を迎えます。こんな時こそしっかり気を引き締めて、広島市の国際交流・国際協力の拠点として、その責任を果たすため、全ての業務で「ABC」を徹底してまいります。

##### <広島市中小企業会館>

当館には展示館（イベント会場）2640㎡（660㎡×4）があり、本館には研修室、会議室も兼ね備えており、合わせて駐車場もあります。研修室は定員102名（分割して51名も可）、会議室は定員48名（分割して24名も可）となっていますが、研修室、会議室の単独利用も可能ですので、ご利用希望の方がおられましたら是非ご紹介ください。ご連絡お待ちしております。

問合せ先：082-277-4441

#### <クレンリネス事業部>

昨年12月25日にクレンリネス事業部浦出信之部長が急逝されました。あまりにも突然のことで、年が明けても未だに信じられない気持ちです。ご冥福を心よりお祈り申し上げます。浦出部長は、いつもお客様やスタッフの方に丁寧で誠実な対応をされ、部員一同日々学ばせて頂いており、改めて影響の大きさを痛感しているところです。

遺された者が力を合わせて乗り越えていかなければなりません。副部長の鍵本が代行をしますが、皆さまのご協力が不可欠ですので、色々とお不便やお迷惑をお掛けするとは思いますが、ご助力の程よろしくお願い致します。

#### <FM事業部>

FM事業部では、年度末に向けいくつかの事業所で電気保安規程に基づく高圧受変電設備の年次点検（停電作業）を予定しています。作業内容は、作業計画に基づき保護装置試験、絶縁抵抗・接地抵抗の測定、各所の清掃・増し締め等の点検となり、各施設とも点検作業開始前には作業員全員が集合し、KYM（危険予知ミーティング）を行うことにより安全作業の徹底に努めます。2/21（水）～22（木）の夜間には、紙屋町地下街シャレオを予定しており、毎年のことですが、各事業所からの応援勤務をお願い致します。日常点検では出来ない停電・復電作業や高圧機器の点検・動作試験などが直接現場で体験できるチャンスですので、積極的に参加して下さい。



## <東京支店>



東京支店が所在する赤坂の氏神様は「赤坂氷川神社」となります。本年も仕事始めの1月4日に支店職員数名で、例年通り初詣に行きました。明治神宮や神田明神の人出とは比べ物にはなりません。昨年5月にコロナ禍の一旦の収束があったせいか、赤坂氷川神社にも多くの企業参拝の方々がお見えになってごった返しており、我々も一年の息災をお願いしました。皆様本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

## <セキュリティ事業部>

1月末から2月にかけて最も寒さの厳しい時期になります。今年は暖冬により比較的過ごしやすい日が多いようですが、それでも夜間や早朝の冷え込みにより路面の凍結が発生しやすくなり、通勤時はもとより、警備では屋外巡回中の転倒事故にも注意しなければなりません。特にアスファルト上の凍結は、一見すると濡れた路面にしか見えないブラックアイスバーン状態になっていることがありますので、暗い時間帯は懐中電灯で足元を確認しながら歩くようにしてください。

## <SP事業部>

この度の能登半島地震で、イベント開催時の地震発生対応について、主催者と事前に打合せを行う必要性があると改めて考えさせられました。過去の事例では2001年3月の芸予地震を思い出しました。発生時はイベント開催中でしたが大事には至りませんでした。南海トラフも予測されており、改めて来場者、出展社、主催者、設営スタッフの安全を確保する為に既存のマニュアルの見直し、改善を行います。

## <安全衛生委員会>

新年に当たり省みますと、昨年(R5.4~12)は4件の労働災害が発生しました。発生件数は前年(R4.4~12)と比べ1件減りましたが、今期は2件の休業を伴う労働災害が発生しています。前年度も1件の休業を伴う労働災害(休業期間314日)が発生しました。これにより、今後労災保険料率が悪化することになります。新年早々明るい情報をお伝え出来ないのが心苦しいのですが、今期残り2か月余り、まずは労災事故ゼロを目指していきましょう。そして、悪化する労災保険料率に歯止めをかけるため、休業を伴う労働災害の撲滅を目指して安全活動を行ってまいりますので、ご協力お願いします。

**今年1年、事故のない安心安全な職場を皆さんの力で作っていきましょう。ご安全に！！**

## <磨種(とぎぐさ)>

甲辰年を迎えて新年のご挨拶を申し上げます。元旦の16時過ぎ広島でも震度3で揺れましたが、能登半島地震では多くの尊い命が失われ、未だ安否の確認が取れない人が多数とのこと。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、一日も早く元の日常を取り戻せるように願うばかりです。

足元を省みれば、年末の28日本社クレンリネス事業部甫出信之部長の急逝で葬儀を余儀なくされ、筆者は弔辞を捧げ冥福を祈りました。年明けの1月9日(火)、筆者携帯メールに12月18日彼が発信したメールが遅れて出て参りました。そこには12月14日自宅そばの内科クリニックで診察した結果、心房細動の兆候があり、広大病院で1月10日に24時間心電図検査の予約をしていたことや、18日の早朝会議中倒れたことで周りの皆に迷惑をかけたことを詫び救急手配に感謝する内容でした。快活で明るい彼の性格を著した内容に改めて取り返しのつかない結果を迎えたことを深く反省して改めて冥福を祈りました。

彼は平成7年4月、縁あってオオケンに入社し、以来28年間、徳山大学野球部経験者としての誇りを以て、粘り強くクレンリネスの実践研究に研鑽を重ね、コロナ禍にはインфекション・コントロール・サポート・システム(I-CoSS)の実践リーダーとして部下を率い、様々の国公立私立病院の院内感染予防管理に尽力してくれました。現在クレンリネス事業部がエッセンシャルワーカーの集団として存在することの立役者として存在してくれたことに、大いなる敬意と感謝を払うものです。

本社安全衛生管理委員会はこの度の彼の急逝を大きな蹉跎とし今一度安全と安心を確保するために何をどうすれば良いのか検討していますし、クレンリネス事業部では『ホデ・メモリアル』のアイデア新設を検討しています。

利を以て利となさず義を以て利となすことを基本理念として、オオケンアイコスが存続成長を果たすことをクレンリネス事業部は目指しています。安心と安全を提供することは快適環境づくり・人づくり・国づくりを目指すオオケンの大事な使命ですし、社員さんお一人お一人の健康維持は会社が目指す健康経営の基本です。合掌